

正の数と正の符号、負の数と負の符号

0より大きい数を^{せい}正の数といい、+(プラス)の^{ふごう}正の符号で表す。

0より小さい数を^ひ負の数といい、-(マイナス)の^{ふごう}負の符号で表す。

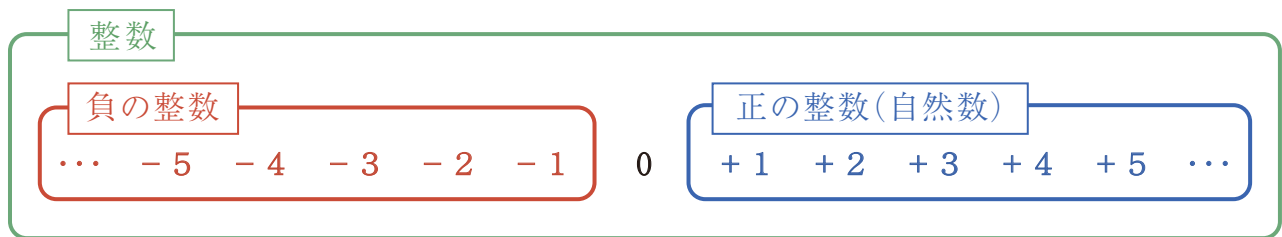
たとえば、0より2大きい数は「+2」、0より2小さい数は「-2」と表す。

正の整数、自然数、負の整数

整数は^{せいすう}正の整数、0、^ひ負の整数の3つに分けることができる。

正の数は^{しぜんすう}自然数ともいう。

0は正の数でも負の数でもない数となる。



1 次の数を、正の符号、負の符号を使って表しなさい。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ① 0より3大きい数 | ② 0より6小さい数 |
| ③ 0より8大きい数 | ④ 0より7小さい数 |
| ⑤ 0より0.8小さい数 | ⑥ 0より0.3大きい数 |
| ⑦ 0より $\frac{1}{3}$ 小さい数 | ⑧ 0より $\frac{1}{2}$ 大きい数 |

2 の中をうめさない。

- ① 0より大きい数を という。
- ② 0より小さい数を という。
- ③ 正の整数は ともいう。
- ④ 正の数でも、負の数でもない数は である。

正の数と正の符号、負の数と負の符号

0より大きい数を^{せい}正の数といい、+(プラス)の^{ふごう}正の符号で表す。

0より小さい数を^ふ負の数といい、-(マイナス)の^{ふごう}負の符号で表す。

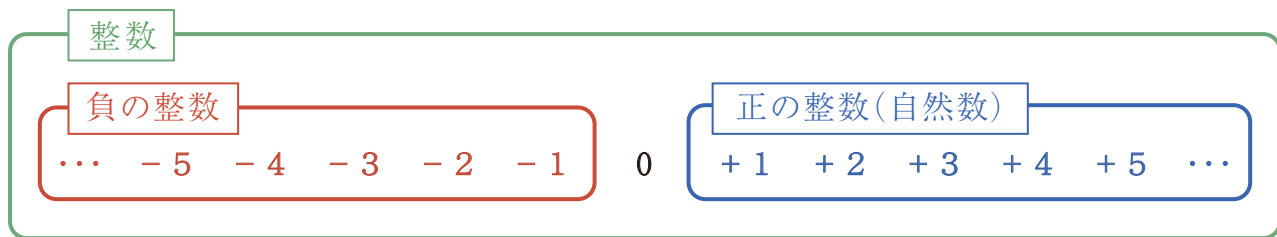
たとえば、0より2大きい数は「+2」、0より2小さい数は「-2」と表す。

正の整数、自然数、負の整数

整数は^{せいすう}正の整数、0、^ふ負の整数の3つに分けることができる。

正の数は^{しぜんすう}自然数ともいう。

0は正の数でも負の数でもない数となる。



1 次の数を、正の符号、負の符号を使って表しなさい。

- | | | | |
|--------------------------|----------------|--------------------------|----------------|
| ① 0より3大きい数 | +3 | ② 0より6小さい数 | -6 |
| ③ 0より8大きい数 | +8 | ④ 0より7小さい数 | -7 |
| ⑤ 0より0.8小さい数 | -0.8 | ⑥ 0より0.3大きい数 | +0.3 |
| ⑦ 0より $\frac{1}{3}$ 小さい数 | $-\frac{1}{3}$ | ⑧ 0より $\frac{1}{2}$ 大きい数 | $+\frac{1}{2}$ |

2 の中をうめさない。

- ① 0より大きい数を という。
- ② 0より小さい数を という。
- ③ 正の整数は ともいう。
- ④ 正の数でも、負の数でもない数は である。